

これまで *Walckenaeria antica* (Wider, 1834) に誤同定されてきた *W. golovachi* Eskov et Marusik, 1994 の記載

松田まゆみ¹⁾

Description of *Walckenaeria golovachi* Eskov et Marusik (Araneae : Linyphiidae)
from Japan previously misidentified with *W. antica* (Wider)

Mayumi MATSUDA¹⁾

チョビヒゲヌカグモ *Walckenaeria antica* (Wider, 1834) がわが国から初めて記録されたのは、1907年千島からである(八木沼, 1971)。その後しばらく記録がなかったが、1970年に北海道の大雪山から採集され(八木沼・西川, 1971)、以降、岩手県(八木沼, 1971)、東京都(新海・八木沼, 1977)、神奈川県(熊田ほか, 1995) 福島県(小野ほか, 1995)、秋田県(福島, 1997)などから記録がある。これらの記録から、わが国では北海道から本州にかけて分布しているものと考えられる。

W. antica は、ヨーロッパから中央シベリアにかけて分布する種であるが、ロシア東部からは記録されていない(Mikhailov, 1997)。またヨーロッパには *W. antica* に酷似した *W. alticeps* (Denis, 1952) が分布する。一方、ロシア東部には *W. antica* の近縁種として *W. golovachi* と *W. fraudatrix* Millidge, 1983 が分布する。前者の分布域は沿海州、サハリン、南千島であり、後者は中央シベリア以东からアラスカにかけての地域とサハリンである(Mikhailov, 1997・Millidge, 1983)。Eskov・Marusik (1994) は、このような分布から、日本、韓国、中国、モンゴルから記録されている *W. antica* は、*W. fraudatrix* か *W. golovachi* であろうと述べている。

そこで筆者はこれまで *W. antica* と同定してきた北海道産の標本について精査を行なった。その

結果、本種は *W. antica* ではなく、サハリン、南千島、沿海州で記録されている *Walckenaeria golovachi* Eskov et Marusik, 1994であることを確認した。

W. antica とヨーロッパに分布する *W. alticeps* は雄触肢の構造が極めて似ており、栓子の形態や大きさが識別点となるが(Kronstedt, 1980)、これら2種と *W. golovachi* 及び *W. fraudatrix* は、触肢脛節の形態が明らかに異なり、区別は比較的容易である。また、雄の頭胸部を側面から見た場合、*W. antica* と *W. golovachi* はよく似ているが、*W. golovachi* の方が、前中眼のあたりが前方にふくらんでいる。*W. fraudatrix* は、前2種より瘤が低い。一方雌では、これら3種の外雌器やゲニタリヤは酷似しており、区別は極めて困難と考えられる。このようなことから、これらの種を正しく同定するためには、雄触肢脛節の形態を確認する必要がある。

筆者の検した北海道産の雄はすべて *W. golovachi* と同定できた。また、八木沼・西川(1971)によって大雪山から記録された個体の雄頭側面図も *W. golovachi* と判断できる。なお、筆者は本州産の標本は見えていないが、*W. antica* の分布から考えると *W. golovachi* である可能性が高い。ただし、*W. fraudatrix* はサハリンにも分布しており、日本にも生息している可能性があるため、同定には注意を要する。

1) 〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字糠平北区25 Kita-ku 25, Nukabira, Kamishihoro-cho, Kato-gun, Hokkaido 080-1403 Japan

記 載

Walckenaeria golovatchi Eskov et Marusik, 1994

チョビヒゲヌカグモ

Walckenaeria golovatchi Eskov et Marusik, 1994, p. 62, figs. 100–105.

所見標本：1♀，18-IV-1983，上士幌町東居辺，松田まゆみ採集；1♀，23-X-1983，同所，同採集者；1♀，7-VI-1983，同所，同採集者；1♀，5-V-1984，同所，同採集者；1♀，19-X-1983，上士幌町糠平，同採集者；1♀，25-VI-1984，同所，同採集者；2♀，16-VII-1990，同所，同採集者；1

♂，29-X-1992，同所，同採集者；2♀，3~7-VI-1993，同所，同採集者；1♀，14~28-VII-1994，同所，同採集者；3♀，4~12-VII-1995，同所，同採集者；1♂，17-X-1988，陸別町大誉地，同採集者；11♂，26-VI-1993，陸別町キトウシ山1000 malt.，柴多浩一採集；1♂，23-V-1993，大樹町キモントウ沼北岸，同採集者；1♂，23-V-1993，大樹町生花苗沼南岸，同採集者；2♂，23-V-1993，大樹町ホロカヤントウ沼北東岸，同採集者；1♀，1-VIII-1993，大樹町浜大樹，宮下公範採集；3♂6♀，22-XI-1993，豊頃町湧洞沼東岸，松田まゆみ採集；3♀，5-X-1997，苫小牧市植苗，ウトナイ湖畔，佐古寛知採集；2♀，15~28-VI-1999，札幌市厚別区，渡辺修ほか採集；1♀，16~30-VIII-1999，同所，同採集者。

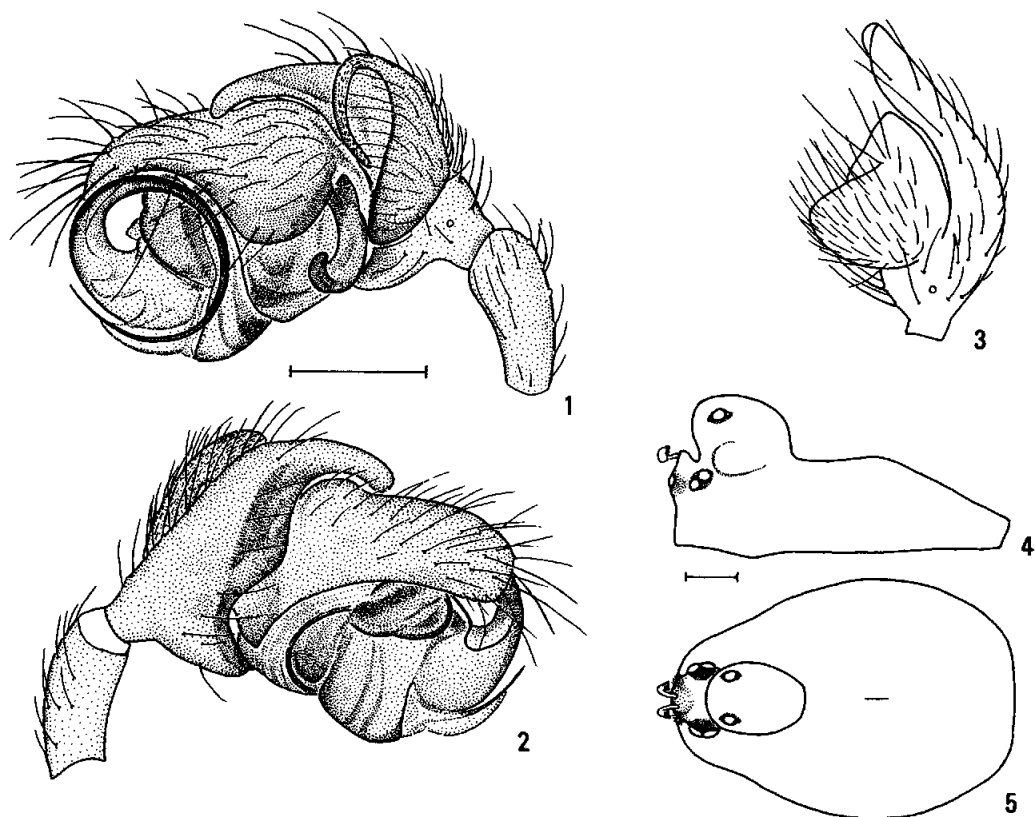


図1-5. *Walckenaeria golovatchi* Eskov et Marusik, 1994 チョビヒゲヌカグモ

1, 雄左触肢前側面；2, 同後側面；3, 同脛節背面；4, 雄頭胸部側面；5, 同背面（スケール：0.2mm）

Figs. 1-5. *Walckenaeria golovatchi* Eskov et Marusik, 1994

1, male left palp, retrolateral view ; 2, same, prolateral view ; 3, male left palpal tibia, dorsal view ; 4, male cephalothorax, lateral view ; 5, same, dorsal view. (scales : 0.2mm)

測定（単位mm, ♂/♀）：体長 2.48–2.97（14個体）/2.28–3.24（24個体）；背甲長 1.10–1.31（20個体）/1.00–1.41（25個体）；背甲幅 0.79–0.90（20個体）/0.76–0.97（25個体）。

色彩・形態：背甲は普通橙色を帯びた褐色で、頭部は橙褐色から黒褐色まで個体により変異がある。雄の頭部には後中眼をのせた大きな瘤がある。その前方に上向きの小突起があり、ここから髭状の毛束が前方に伸びている。胸板は橙褐色。歩脚は、基節と転節は橙褐色、腿節は橙褐色で先は黒味を帯びる。膝節、脛節は黒みがかった橙褐色で、蹠節、附節は黄褐色。腹部は灰色で、個体により若干の濃淡がある。脛節背面の刺は2-2-1-1。Tm I は約0.55。TmIVを有する。

近縁種との区別：*W. antica*, *W. alticeps*, *W.*

fraudatrix とは、雄触肢脛節の形態が異なる。これらの種の脛節は先が2つの突起に分かれ、外側面の突起の先端は内側に湾曲している。*W. golovatchi* は、この湾曲した突起が細くて長い。雄頭部の瘤は、*W. fraudatrix* が最も低い。雌の外雌器及びゲニタリアは *W. antica*, *W. fraudatrix* と極めて似ており、生殖器の形態だけで区別することは困難と考えられる。また、外雌器には若干の変異が見られる（図参照）。

分布：沿海州、サハリン、南千島、日本。

謝 辞

本文をまとめるにあたり、柴多浩一氏、宮下公範氏、佐古寛知氏、さっぽろ自然調査館の渡辺修氏、丹羽真一氏、渡辺展之氏には、貴重な標本を

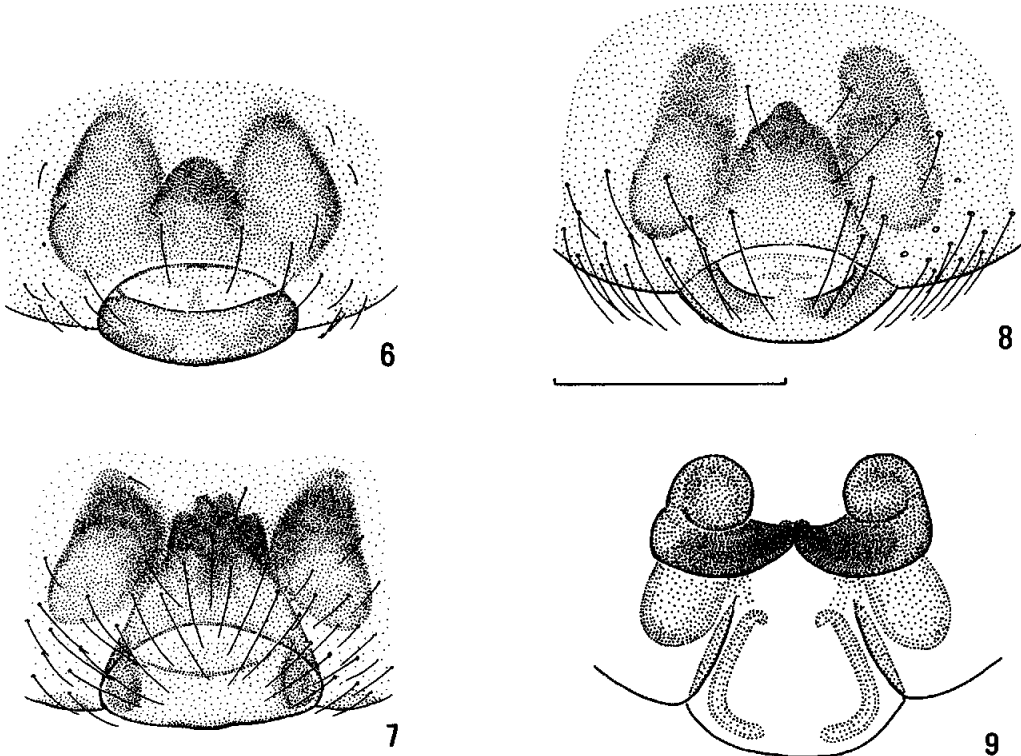


図6-9. *Walckenaeria golovatchi* Eskov et Marusik, 1994 チョビヒゲヌカグモ

6-8, 外雌器；9, 雌内部生殖器（スケール：0.2mm）

Figs. 6-9. *Walckenaeria golovatchi* Eskov et Marusik, 1994

6-8, epigynum ; 9, female genitalia. (scale : 0.2mm)

ご恵与いただいた。帯広畜産大学名誉教授の堀浩二博士には英文の校閲をしていただいた。ここに感謝の意を表する。

文 献

- Eskov, K. Y. & Y. M. Marusik, 1994. New data on the taxonomy and faunistics of North Asian linyphiid spiders (Aranei Linyphiidae). *Arthropoda Selecta*, 2 (4) : 41–79.
- 福島彬人, 1997. 秋田県の真正蜘蛛類目録. *Kishidaia*, (72) : 64–82.
- Kronstedt, T., 1980. Note on *Walckenaeria alticeps* (Denis), new to Sweden, and *W. antica* (Wider) (Araneae, Linyphiidae). *Bull. Br. arachnol. Soc.*, 5 (3) : 139–144.
- 熊田憲一・池田博明・谷川明男, 1995. 神奈川県産クモ類目録. *Kishidaia*, (68) : 1–48.
- Mikhailov, K. G., 1997. Catalogue of Spider of the Former Soviet Union (Arachnida, Aranei). 416pp. Zoological Museum of the Moscow State University, Moscow.
- Millidge, A. F., 1983. The erigonine spiders of North America. Part 6. The genus *Walckenaeria* Blackwall (Araneae, Linyphiidae). *J. Arachnol.*, 11(2) : 105–200.
- 小野展嗣・新海栄一・加藤輝代子, 1995. 福島県のクモ類相. 国立科博専報, (28) : 113–133.
- 新海栄一・八木沼健夫, 1977. 分布資料. *Atypus*, (69) : 39.
- 八木沼健夫, 1971. 分布資料 [II]. *Atypus*, (57) : 38.
- 八木沼健夫・西川喜朗, 1971. 大雪山の真正蜘蛛類. JIBP主調査地, 大雪山地域の動物相調査報告-VI. 陸上生態系における動物群集の調査と自然保護の研究. 昭和45年度研究報告. pp.71–96.
- 八木沼健夫・新海栄一, 1971. 分布資料. *Atypus*, (55) : 33–34.

Summary

The author described *Walckenaeria golovachi* Eskov et Marusik, 1994 from Japan. The Japanese authors reported that *W. antica* was collected from Hokkaido and Honshu. The author examined carefully the male palpal tibias of the spiders which had been identified as *W. antica* by them. As the result of the examination, it was clarified that *W. golovachi* had been wrongly identified with *W. antica* (Wider, 1834). *W. golovachi* is distributed in southern Kurile Island, Sakhalin Island, Ussuri River basin, Honshu and Hokkaido, while *W. antica* is distributed in Europe to west of Middle Siberia.